

**双葉町復興町民委員会 復興産業等拠点部会
ワークショップ 第3回 報告書**

- 日時 平成27年10月29日(木) 13:00~16:00
■場所 双葉町役場いわき事務所 2階大会議室
■参加者 別紙座席表のとおり
- テーマ 「復興産業拠点のかたちと、新市街地ゾーンのあり方を考える」

■流れ

- ①前回の振り返り
- ②復興産業拠点のかたちを考える
- ③グループ成果の発表
- ④駅西・新市街地ゾーンのありかたを考える
- ⑤グループ成果の発表
- ⑥全体討議

■「新産業創出分科会の検討状況報告」について町から説明

新産業創出分科会での議論の柱は次のとおり。

- ・双葉町における再生可能エネルギー導入可能性
- ・再生可能エネルギーの復興まちづくりへの活用方策案
- ・町民参加型の再生可能エネルギー活用プロジェクトの案出し

新産業創出分科会における議論を経て、復興産業等拠点部会への報告案を取りまとめ予定。

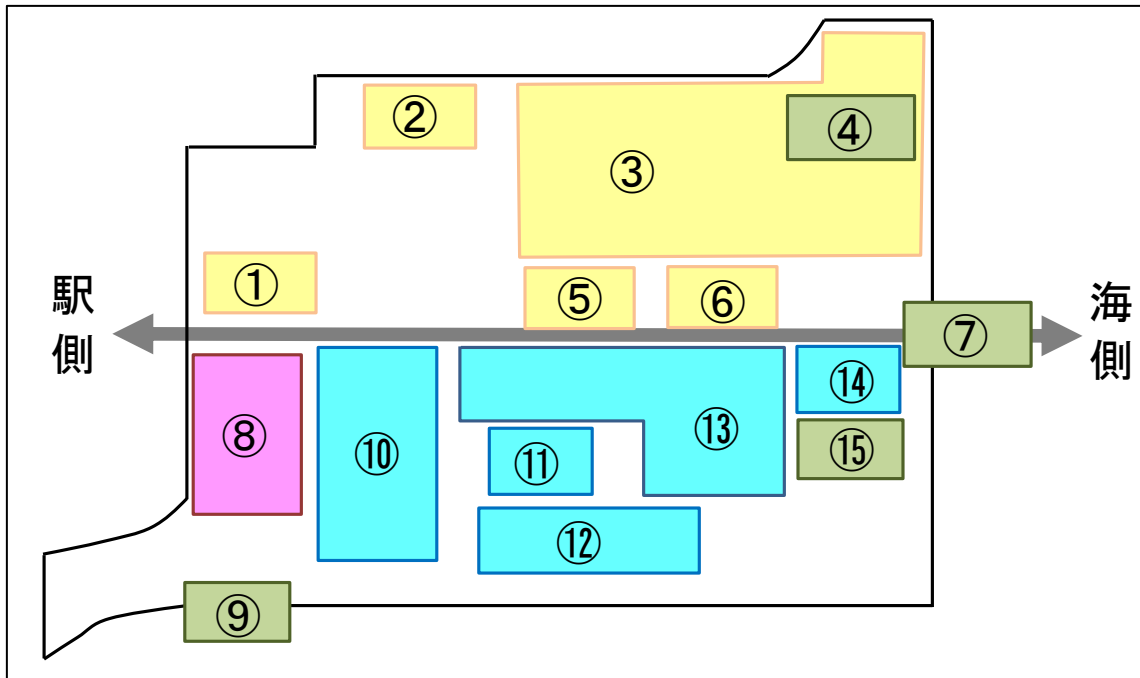
■ワークショップ成果の発表

第1部テーマ：「復興産業拠点のかたちを考える」

◇グループA

部会員：高野、木幡、眞柄、齊藤

キャッチフレーズ：「COCOから復興」



青色：産業施設関連（産業関連事業所、資機材・車両基地 など）

新作業創造施設関連（先端医療関連事業所 など）

産学連携施設関連（廃炉の研究開発施設 など）

緑色：アーカイブセンター関連（例：原発事故の記録展示施設 など）

景観形成関連（例：花きや植栽 など）

黄色：産業交流センター関連（食堂、売店、コンビニ、休憩施設 など）

ピンク色：地場産業共同事務所関連（地元中小企業の共同工場 など）

《①産業交流センター関連》

- ガソリンスタンド

《②産業交流センター関連》

- 短期賃貸住宅

《③産業交流センター関連》

- 会議室（公民館・コミュニティホール）
- 宿泊施設（企業の方、町民の方 両方宿泊）
- 町民一時滞在（数日）施設（双葉町民優先）
- 温浴施設
- 交流イベント施設（大ホール、盆踊り、たいこ、芸能、野外ホール）
- 休憩施設（カフェ）
- 食堂
- 防災施設（情報発信、情報がひとつに集まる場）
- 避難場所（建物）

《④アーカイブセンター関連》

- 原発事故の記録展示施設
- 復興未来図展示施設

《⑤産業交流センター関連》

- 診療所

《⑥産業交流センター関連》

- 売店・コンビニ（地元の商店が事業主）

《⑦景観形成関連》

- 花きや植栽（フラワーロード：道路から公園へつながる）

《⑧地場産業共同事務所関連》

- 地元中小企業の共同事務所（建設関係、工業部門）
- 地元中小企業の共同工場（部品メーカー）

《⑨景観形成関連》

- 花きや植栽

《⑩産学連携施設関連（研究）》

- 大学のサテライトキャンパス
- ロボットの研究開発施設
- 廃炉の研究開発施設

《⑪産業施設関連》

- 駐車場（企業で働く人たちのため）

《⑫産業施設関連》

- 資機材、車両基地
- 廃棄物処理事業所

《⑬産業施設関連・新作業創造施設関連》

- 作業員の食事、休憩施設
- 企業のPR館
- 産業関連事業所
- 機能性食品関連事業所
- 先端医療関連事業所

《⑭産業施設関連》

- 駐車場（公園や交流センターへ訪れる人たちのため）

《⑮スポーツ施設関連》

- レクリエーション、企業で働く人たちの息抜き、町民の運動会、スポーツ大会も

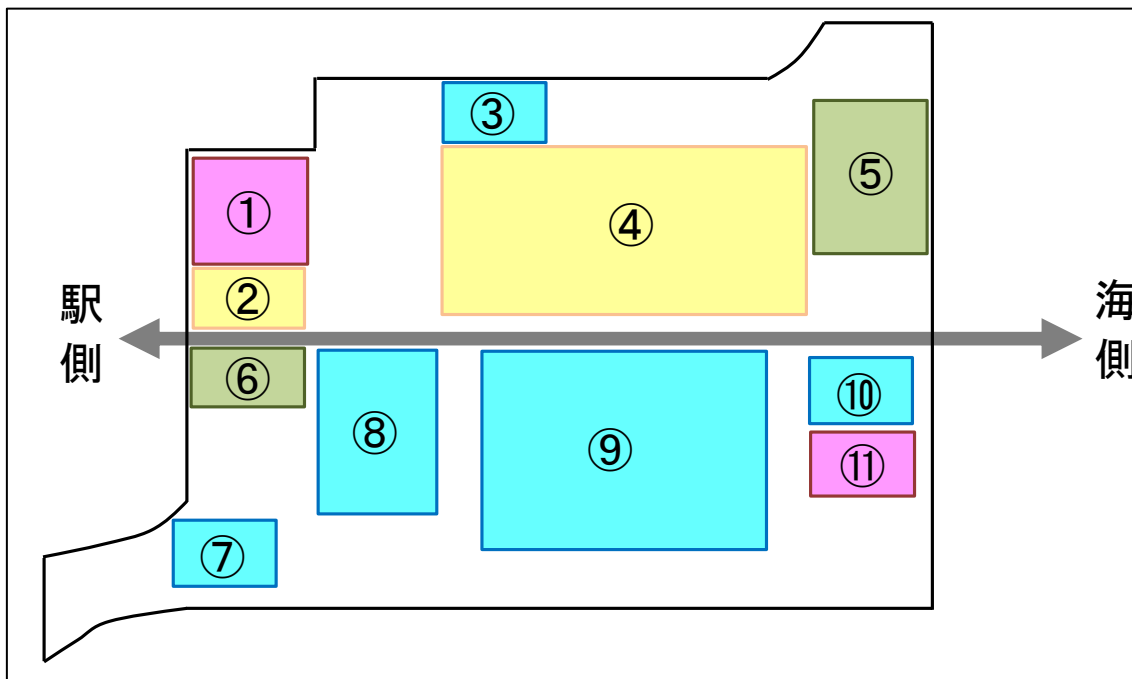
《カード記載以外の補足説明・感想等》

- キャッチフレーズは「COCOから復興！！」
- ここに来てみると、確実に復興が進んでいるなという建物を作る。
- 産業交流センターの中に原発事故のアーカイブセンターなどを入れる。
- 産業交流センターは、地震があっても津波がきても大丈夫な3階建てぐらいのイメージ。
- 復興シンボル軸から下は産業関連とか、大学とかロボット開発などにする。

◇グループB

部会員：澤上、小川、吉田

キャッチフレーズ：「過去から未来へ」



青色：産業施設関連（産業関連事業所、資機材・車両基地 など）

新作業創造施設関連（先端医療関連事業所 など）

産学連携施設関連（廃炉の研究開発施設 など）

緑色：アーカイブセンター関連（例：原発事故の記録展示施設 など）

景観形成関連（例：花きや植栽 など）

黄色：産業交流センター関連（食堂、売店、コンビニ、休憩施設 など）

ピンク色：地場産業共同事務所関連（地元中小企業の共同工場 など）

《①地場産業共同事務所関連》

- 地元中小企業の共同工場（双葉牛の加工場、魚の加工場）
- 地元中小企業の共同事務所（通信環境の整備、商工会議所）

《②産業交流センター関連》

- ガソリンスタンド

《③新作業創造施設関連》

- 機能的食品関連事業所

《④産業交流センター関連》

- 短期賃貸住宅
- 交流イベント施設
- 町民一時滞在施設
- 診療所（先端医療研究と連携）
- 休憩施設
- 会議室、研修室
- 売店、コンビニ（地元商品：にんにく、あんこうのともあえ、ガニ巻き、双葉牛（加工品））
- 食堂
- 防災施設
- 宿泊施設
- 温泉施設（廃棄物処理事業所で発生した熱を利用）

《⑤アーカイブセンター関連》

- 復興未来図展示施設
- 原発事故の記録展示施設
- 古墳の再現（壁画モニュメント、町民でDVDを作成する）

《⑥景観形成関連》

- 花きや植栽

《⑦産業施設関連》

- 資機材、車両基地

《⑧産業施設関連》

- 企業のPR館（町内の企業、景気に左右されない企業、体験（職業体験等））
- 産業関連事業所

《⑨新産業創出施設関連・産学連携施設関連》

- 先端医療関連事業所
- 作業員の食事・休憩施設
- ロボットの研究開発施設
- 廃炉の研究開発施設
- 大学のサテライトキャンパス

《⑩新産業創出施設関連》

- 廃棄物処理事業所（熱を交流センターへ）

《⑪地場産業共同事務所関連》

- ひらめ養殖事業

《カード記載以外の補足説明・感想等》

- キャッチフレーズは「過去から未来へ」
- 売店は地元産のニンニクや双葉牛などをできる範囲で出せたらよい。
- 清戸迫横穴をアーカイブセンターに再現したらどうか。
- 清戸迫横穴を紹介する DVD を作成したらどうか。

グループワークの様子



発表の様子



ワークショップの成果



第2部テーマ：「駅西・新市街地ゾーンのありかたを考える」

◇グループA

部会員：高野、木幡、眞柄、齊藤

【カードに書かれた意見】

■駅西

《医療・福祉》

- 診療所（総合）
- 高齢者福祉施設

《住宅》

- 災害公営住宅
- 公的賃貸住宅
- 分譲住宅地（戸建て）

《商業・サービス 一体型の商業施設（運営は地元がする）》

- パチンコ屋さん
- スーパーマーケット
- 八百屋さん
- 飲食店集合施設
- 床屋さん
- 酒屋さん

《公共（駅西出口すぐ）》

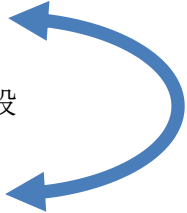
- 共同駐車場
- スポーツもできる公園（緑の多い公園）
- 小学校・中学校・高校
- 主要道路にせんだんの街路樹を植えてシンボルに
- 道路整備：生活用（一般道路）

■駅東

《まちなか再生ゾーン》

- 役場（新庁舎）
- 郵便局
- 銀行
- 図書館

近接



《カード記載以外の補足説明・感想等》

- 双葉町は駅と6号線との間に施設があった。
- 駅西はまだ未開発のイメージが強い地区のため、新市街地のイメージを考えるのに苦労した。
- 新市街地ゾーンは検討したが、やはり駅と6号の間がメインとなると思うので、役場や郵便局などを入れた。
- 新市街地は、住宅を配置し、そうなればスーパーなど必要になると考えた。
- 新市街地ゾーンの隣に耕作再開モデルゾーンがあるため、すみわけ（機能の役割分担）が難しい部分があることも考えられる。まちなか再生ゾーンに住宅街を作ること考えてもいいのではないか。
- 6号から西の方は道路の整備が重要。

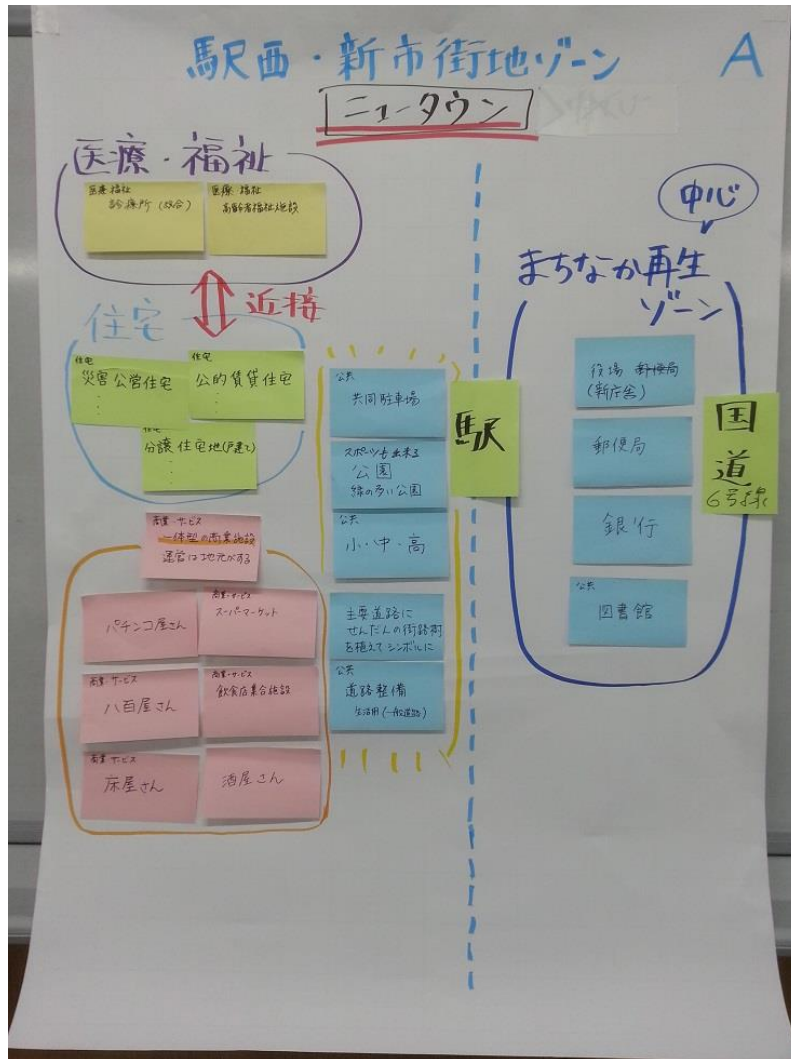
グループワークの様子



発表の様子



ワークショップの成果



◇グループB

部会員：澤上、小川、吉田

【カードに書かれた意見】

■ 駅西

《医療・福祉》

- 高齢者福祉施設
- 診療所
- 特別養護老人ホーム（J A厚生病院のような施設）
- 整形外科
- がんセンター

《公共》

- 小学校・中学校
- 図書館
- こども園
- 役場（支所）

《住宅》

- 公的賃貸住宅（集合）
- 災害公営住宅
- 民間集合住宅（分譲）

《ふたばのガーデンプレイス（コンパクトシティ）》

- 映画館
- スケートリンク
- 飲食集合施設
- スーパーマーケット（食品・生鮮・加工・町の飲食店）
- ホームセンター（コメリ）
- 家電屋

■ 駅東

《まちなか再生ゾーン（川越のようなレトロな商店街）》

- コインランドリー
- 床屋
- 花屋
- 飲み屋
- 酒屋
- 寿司屋

《カード記載以外の補足説明・感想等》

- 駅東はまちなか再生ゾーンとして、コインランドリーやレトロな商店（川越のような）、床屋さん、花屋さんなど入れてはどうか。
- 駅西はコンパクトシティとして、映画館、図書館、高齢者福祉施設などを立地させてはどうか。
- 高台に集合住宅、その手前に公園を配置してはどうか。

グループワークの様子



発表の様子



ワークショップの成果



■全体のまとめ（金子氏）

- 第1部の復興産業拠点は、2チームとも似たような形にまとまった。
- 第2部の新市街地ゾーンは、かなり違う形にまとまった印象。
- グループAは、東口を重視し、西口を住宅地と居住者のための商業ゾーンとして描いた。
- グループBは、西口を新都心とし、東口はレトロタウンとしたのが特徴的であった。

◇学識経験者 間野先生からの講評

まず第1部に関しては、青色が新たな産業施設とされており、こちらの枚数が多いが、新産業の誘致ばかりでなく、地元の産業を復活させるためにピンク色の施設をどう活用するか。新産業に関連する地元産業を誘致するのか、それらと直接の関係はなくとも地元の産業をもってきて、もう一回事業を再開するのか。赤色の施設の活用方策を考えることは重要である。

この拠点には、「町の復興に向けて人が集まる機能」、「双葉町のもとからある産業を再生させる機能」、「新たな産業・研究を呼び込む機能」が集積する。

新産業の関係者と双葉町民が交流するのはどんな場面なのか、誘致企業と地元企業との関わり方はどのようなものになるのか、より深く検討していくとよい。

二つの班とも具体的なアイデアがたくさん出たので、これらをうまく取りまとめて事務局で案を提案してほしい。

今回は機能面の話を中心であったが、事務局で案を作成する際にはボリューム感を考慮してもらいたい。

ボリューム感を事務局で検討してもらって、地域の大きさとあった提案をやってもらおうと、より現実的な計画になってくるのではないかな。

次に第2部についてだが、両班でかなり違う形になったという印象は、私は受けなかった。

新市街地ゾーンは、まちづくり長期ビジョンの中で、駅周辺の再開発をし、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを目指すエリアとされているが、このような考え方をベースにバランスのとれた議論ができていたと思う。

これに加えて、今後考えていただきたいことは、駅前に欲しいものというのはどんなものかということ。駅前はシンボリックな空間なので、例えば文化ホールなど、駅前にふさわしい機能は何なのか考えていく必要がある。

◇福島県双相建設事務所 企画調査課 菊池主任主査

3回目で慣れてきたのか、短い時間の中で意見がでてきた。
次の3つの視点で考えるとイメージがしやすいのではないか。

- ・ 自分の今後の生活。
- ・ 子ども世代、孫世代がそこに住む。
- ・ 5年後10年後など年を重ねた場合。

もう一つは、まちなか再生ゾーンとのバランスを皆さん考えていた。新市街地ゾーンだけで復興できるわけではない。駅と反対側との連携が必要で、それにはどのような機能が必要かなど考えていくと、いろいろなアイデアが出てくると思う。

最後に、道路の整備などの話もあったが、新しくできる町内での移動手段をどうするか、公共交通網についても考えていただくと、もっと魅力的な街づくりになるのではないか。

